

いじわるをする ともだちに「あなたが だいすき」
なんて いわれても、しんようできないね。
ことばを きいただけでは そのひとの ほんとうの
きもちが わからないことも ある。
どんなことを するか よく みると、そのひとの
ことばが ほんとうか うそかが わかる。

とても なかよしで、きもちの つじあっている
ともだちに「ばかやろ」といわれても きにならない
が、 きれいなともだちに「ばかやろ」と いわれると
はらが たつ。
おなじ ことばでも ころろしいで ちがった いみ
を もつ。

まじめに いってるのか、ふざけて いってるのか、
ほんきで いってるのか、くちだけで いってるのか
——ことばと ころろは くっついている。
ことばの おくの ころろを することが たいせつだ。

ほんとうは なにも していないのに、「あいつはどろ
ぼう だ」と だれかが いうと、そのことばだけで み
んなが そのひとを どろぼうだと おもいこんだりする
ことが ある。
そういうからっぽことばに だまされないように しょ
う。

少年少女たちよ。
言葉と心はくっついている。からっぽ言葉にだまされるな！

由仁 本覚寺 高橋芳子

